

一宮町中央公民館の整備に関する
グループインタビュー
実施報告書

令和6年9月
一宮町

目 次

I. 調査実施概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 実施方法.....	1
3. ヒアリング先一覧.....	1
II. インタビュー結果.....	2
1. フレッシュミズ.....	2
2. 子ども会育成連合会.....	7
3. 太極拳同好会.....	10
4. 手話教室.....	13

I. 調査実施概要

1. 調査の目的

一宮町中央公民館の老朽化に伴う施設整備に関する計画作成にあたり、町内で活動する各種団体から現在の中央公民館に対する満足度や今後の意向を聴取し、計画作成に役立てるために実施する。

2. 実施方法

対面またはオンラインによるインタビュー形式

3. ヒアリング先一覧

	対象先	実施方法	実施日
1	フレッシュミズ	ヒアリング調査 (対面)	2024年9月10日
2	子ども会育成連合会	ヒアリング調査 (ZOOM)	2024年9月11日
3	太極拳同好会	ヒアリング調査 (対面)	2024年9月12日
4	手話教室	ヒアリング調査 (対面)	2024年9月12日

II. インタビュー結果

1. フレッシュミズ

日時	2024年9月10日(火) 14:00~15:40	場所	一宮町保健センター会議室
参加者	フレッシュミズ様 (当日参加者7名) 一宮町 教育委員会 教育課 山口副主幹、中村主査補 株式会社ばぎん総合研究所 調査部 高城		

■インタビュー結果

1. 組織概況・活動内容・活動の経緯

- ・フレッシュミズとは、食や農業に関心のあるお母さんたちで構成されたグループである。
- ・グループの結成は2017年であり、当時の人数は4~5人程度であったが、現在は31名である。
- ・会員は、30~50代の子育てをしているお母さん方で、活動時間は、平日の午前中(子どもから手が離れている時間)である。
- ・活動内容は、みそづくりや規格外のトマトを使ったケチャップづくりなどであり、「地域の食と農を次世代につなぐ、美味しいものを無駄なく美味しく」をコンセプトに行っている。
- ・JAには、70代前後の女性が集まる女性組織があるが、フレミズは、若い世代の女性が集まった組織で、千葉県では一宮町だけである。JAの方は農家出身だが、フレミズの方は、農家でなくても、食や農業に関心のある、安心・安全なものを食べさせたいという思いがあるお母さんたちが集まっている。

2. 一宮町中央公民館の使用状況、満足度(立地、広さ、使いやすさ等)

- ・公民館は、主に調理室を使っていて、使用頻度は、イレギュラーで年に1、2回である。主に保健センターの調理室を使っており、公民館の調理室は使いづらいので使っていないという状況である。
- ・GSSを使いたいとき、予約のため公民館に来る。
- ・施設の人はすごく親切にしてくれて、ない本があればすぐに取り寄せてくれるのでありがたい。

3. 一宮町中央公民館に対する不満点と要望

- ・公民館は使いづらい印象である。広報には利用に関する情報が書いてあるかもしれないが、HPを見てもなかなか情報が掲載されていない。情報が見つけづらく、人伝で聞くほうが有益な情報がとれる。特に引っ越してきた住民が情報を探しに行っても見つかりづらい。
- ・一番の不満点は、図書室である。入りづらい雰囲気である。使いづらく、子どもたちだけでは行かない。面積を広く、席も広く、明るくしてほしい。
- ・公民館は、古くて暗い。暗いところには人が集まらなく、寄り付かない。
- ・子どもが習い事で公民館を利用しているが、公民館のトイレが古いので保健センターまで行って用を足している。

- ・ 階段が危なく、また鹿のはく製が置いてあり怖い印象である。
- ・ 雨の日と暑い場所の居場所がないから、フリーで使えるスペース（1階）があればいい。
- ・ 昼間は未就学児、放課後は小中学生たちが、無料で（勉強などで）使えるスペースがあるといい。子どもたちの中では、勉強するのに、一宮町の施設を使うのではなく代わりに長生村の交流センターを使っている。
- ・ 保健センターも公民館も飲食禁止なので、ちょっとした椅子とテーブルがあって、昼食などのご飯を食べて午後でも遊べるような場所があるといい。保育園が終わった後（15時過ぎ）などに、天気が悪く公園にいけない時に使えるスペースがあるといい。
- ・ 東京から移住してきたが、東京の施設（公民館や児童館）と比べると雲泥の差である。図書館に限ると、図書館の本の数や広さ、本の借り方、情報の公開範囲、アクセスのしやすさなど、ないものねだりであるが、一宮町の方が上だというものはない。公共のものなのに住んでいるところだけでこれだけ違うのはおかしく、税収の違いだけであきらめたくない。
- ・ 公民館は、個人的に図書室を使うために子どもと来た。他には、ミーティングで一回使った。図書室に昼休みがあり、入れないことがある。「図書室」から「図書館」に変わって、もうちょっと開けた施設（子どもだけでも行きたくなるような施設）になるといい。
- ・ 最後までみんなが使える複合的な施設がいい。
- ・ 野田市には、小学校のそばに学童ホームがあった。子どもが下校中、または一回家に帰ってから行ってもいいところであった。先生はいないが指導員のような人がいて、定期的にお年寄りが工作教室、異世代交流ができた。お年寄りが子どもたちに体育館で卓球を教えた。予約をして使うのではなく自由に使う場所や、憩いの場や手を差し伸べてくれる場所が必要である。小さい町、移住者がたくさんいる町だからできることをしてもらいたい。
- ・ 横浜から移住して住んでいるが、全国各地を廻って、子供たちに向けて全国の公民館でセミナーを行っている。一宮町ではまだセミナーで利用したことがなく、この間初めて訪問した。使いにくい、声もとどきにくい、コミュニティの機能がないと感じた。
- ・ 部屋の入り口と出口が離れていて作りが悪い。フレキシブルに使えない。音響も悪い。
- ・ 茂原市の交流館（二宮福祉センター）を使っている。部屋もパーティションがあって、調理室、体育館がある。子どもたちが体育館で遊んでいる間に親がセミナーを受けられるのでいい。
- ・ 公民館の定義とはなにか。生活、教育、健康の向上、どこの行政も持っている定義だと思っている。政策提言をしているコミュニティプラザや交流センターなど失敗している。失敗している理由は、定義から外れている。みんなから意見を集めたものの、意見がカオスになってどれにも寄り付かないものになっている。箱物なのであとから改修できない。みんなが欲しいものを作るのか、こちらがある程度定義するのだが、みんなが欲しいものを作ると失敗する。ある程度こういうものに使うと示してあげないと、できた後にもめる。限りなく考えが広がっていく。どこかでまとめないといけない。
- ・ スケルトンに近い形で箱だけ作って、パーティションを動かして、大会議室、小会議室などに変形できるといい。睦沢の道の駅の施設はそういう施設であるため、20人クラスのセミナーから300人クラスのセミナーまで開ける。予約は、貸会議室と同じ考え方でオンラインに

する。またクッションフロアにすれば、子どもの遊び場になる。

- 10年前に家を建てたが、今はリモートワークができるようになった。だから今家を建てたら、グリーンバックの壁紙で個室を2つ作っただろう。AIが入って、0Aフロア、いつでも開閉できるものにしたと思う。時代によってほしいものは変わる。
- 情報発信は、まさに公民館の定義にあてはまっている。そこはやらないとダメである。
- 交流は、定義が難しい。若年層とシニアとの交流の場を作ったとしても失敗しているところが多い。シニアがお母さんたちを助ける場を作ったが、説教の場になって、お母さんが来なくなった事例がある。そこには固定された畳のスペースが設けられていたが、完全に説教部屋になってしまっていた。コミュニティがしっかりしているとその人たちしか使わない。聞いた意見のまま建設した交流センターがあったが、このようにうまくいっていない。プロダクトインだけでもだめであり、プロダクトアウトの発想もある程度していく必要がある。
- 異世代・多世代の交流は、行政的にはキーワードの1つで通りやすい。異世代交流は、すごく抽象的で、反対に具体的にしすぎると来られる人しか来ない。ママ友などのもともとある組織が占拠する事例がある。
- 子育て茶屋という子育てサークルが20年近く月に1回水曜日に活動している。宮原の集会所で、先輩ママさんがお菓子を買ってきて、子育ての悩みなどを話している。今は子どもがいない方も集まっていて、今年から一軒家を開放して赤ちゃんを預かってくれる乳児院になった。つくば市でも同様の事例があるが、親が帰ってくるまで子どもを預かってくれ、子どもたちはノックもしないで入ってくるフランクな場所である。サークルには規制がない。
- 時間のフレキシブル性は大事である。東京駅から19時ごろ発のわかしおに乗ると20時に上総一ノ宮駅に着く。働いていてもちょっと寄れるスペースがあったらいい。こうした交流の場として、公民館が空いていればと思う。町内には交流できる場が少ない。
- 話す声がうるさいと思う人もいるため、音が漏れない防音室を作ったらいい。
- 一宮町の公民館は勉強できない。小さい子は図書館に行くかどうか。児童館があったらよかった。
- 公民館の目的は、みんなが教育を受けて、そこから学びを得て、どの年代でもそこに行けば何かを学んで向上できる場所、生涯学習の場だと思う。だからどこの公民館でも図書館や会議室、学習スペース、交流の場があり、そこにあるものはある程度決まっている。だから、いきなり飲食店が入ることはない。丸投げではなくある程度町から公民館のモデルを出してもいい。
- 一番は図書館をどうにかしてほしい。「図書館」を調べたら、一宮町中央公民館に図書室があるということを知ったが、公民館の入り口が分かりづらく、入りづらい。オープンしているのかもわからない。下駄箱があって、図書室はどこにあるかわからなくてその時は帰った。親子サークルが奥の畳の部屋を使っていて、その前にある狭い入り口に図書室があった。その時は、昼休みでやってなかった。別の機会にやっと入ったが、本数が少なく、図書室というよりもただの本棚であった。図書館は、本を選んで、読んだりしながら定期的に通って本を交換しながら本から学びを得る場だと思う。決まっている本はすぐ手にとれるからよいが、動物や海などの本を探しに行こうと思っても、(少なすぎて) だらだら親子で探

せない。スペース的にも不可能である。雰囲気や働いている方はとっても良いが、また行こうという気にはならない。東京の府中市の図書館は、本がたくさんあって、図書館にいたことが楽しかった。

- 図書館で、本を手にとって開いてみると、こんな本があると発見がある。図書館がなかったら、子どもの興味がある本だけを買ってあげることしかできない。
- 移住前の図書館では、紙芝居の時間や赤ちゃんが遊ぶところや学習スペースがあり、便利だった。
- 一宮小学校の学力が低いのは、子どもが自分から学習するスペースがないからではないか。学校や親がではなく、町がやってくれれば嬉しい。子どもは、本を読んだらある程度吸収してくれると思う。
- 本には、何歳でも関わることができるため、ある程度スペースを構えてほしい。目的なくみんなが寄って集まれる場所になってほしい。じゃあ公民館行くか！といったような、誰かいるから行っておいでよと親も言いやすい場所だとよい。夏休みに学童にいけない子は、家で留守番、ゲームになってしまう。学校帰りに図書館や公民館に行こうと言って出かけたり、友達と会ってしゃべったり、図書館で本を読んだり、勉強したりするなど、公民館が学童的な使い方ができるといい。
- 時間も20時くらいまでやってくれれば、中高生も使いやすい。
- 赤ちゃんだけが使えるところに特化すると、一瞬で使える時期が終わってしまうため、中・高校生、大学生になっても社会人になっても使えるスペースになるといい。作業スペースがあれば、在宅で仕事をしている人や主婦が、冷房の効いているところで、他のもの（宅配や家事）に邪魔されずに仕事ができる。小中学生も使いやすく、部活や自主練でも使えるといい。
- 普段の生活では、割と同じような境遇の人しか会っていない。色々な人に会えるのが公民館のポイントではないか。今は、会ったことないタイプの人いきなり会うとびっくりしてしまい、ハラスメントに発展する。色々な人が交わるカオスの環境にいれば、交流しやすくなり、なんでもかんでもハラスメントにはならない。
- 子どもが行ける場所、いろんな人がいる場所、立ち話ができる場所だといい。でも形をつくと説教部屋みたいになる。
- 茂原や八積の施設を使うが、きれいでありトイレも使いやすい。
- 図書館は、小さい子からお年寄りまで使う。お年寄りが子どもとふれあっていないから、未来ある子を大切にしよう、将来のためという考えにはならない。子どもが騒いだりしたら年配の人にちょっと怒られるような自然な交流できれば、子どものことも少しは考えてもらえる。
- ご飯も食べられる場所になったらいい。
- 一宮町には、クールシェルターがない。クールシェルターには、自然と人が集まる。施設側も暑いから使ってくださいと案内をしている。このように仕掛けを作らないと自然に人が集まるのは無理である。
- 余った玉ねぎをもらってくるみたいな、小さい町だからできるお野菜交換会が公民館ででき

たら自然に交流するかもしれない。

4. 一宮町中央公民館の今後の整備の方向性（リフォーム or 新築、現在の場所 or 移転など）

- ・ 普段の交流も、防災では大事だと思う。年配男性は、すぐ箱物にすればいいという意見になってしまう。若いママさんが困っていることは考えられない。
- ・ 一宮町では、多数決を取ると70代以降の人の高齢者の意見が通ってしまう。どこの声に耳を傾けるか、票の数ではなく、今後使う人の意見に耳を傾けてもらうかを考えてもらいたい。そして結果を実行して示してもらいたい。
- ・ 子育て世代は、図書館、学習スペースを強く推したい。
- ・ 公民館として決められた図書館、講堂、学習スペース、調理場は作らないといけない。ある程度の選択肢をだして、内容がどういうものかを決めるべきである。

5. その他

- ・ キムチづくりのイベントの際に、無作為の手配りのアンケートが配られたが、その後アンケート結果の活用状況は知らないままである。このメンバーの中で、その時のアンケートに回答した方もいる。

2. 子ども会育成連合会

日時	2024年9月11日(水) 18:00~19:00	場所	Zoom
参加者	子ども会育成連合会様 (当日参加者7名、児童:5名、保護者等2名) 一宮町 教育委員会 教育課 山口副主幹、中村主査補 株式会社ばぎん総合研究所 調査部 高城、中村		

■インタビュー結果

1. 組織概況・活動内容・活動の経緯

- 子ども会育成連合会(以下「子ども会」)では、主に子ども向けのイベントを実施している。一宮町の自主事業として、年に3~4回、子どもたちとキャンプや街中を仮装して歩くハロウィン、クリスマスなど、町内での催しもの(かずさ踊り)をしている。

2. 一宮町中央公民館の使用状況と、満足度

- 公民館は、子ども育成会の役員会議を行っている。また、イベント時の集合場所としたり、クリスマス会等でイベントやワークショップを実施していたりして活用している。
- 公民館には行ったことがある。地域の中で集まれる場所として活用されているところがとてもいい。本が好きなので、図書室があるのは良い。
- 図書室を利用したり、GSSの予約に使っていたりする。図書室があって、気軽に行ける。
- 公民館は、子ども会で使っている。図書室に行って本を読んでいる。

3. 一宮町中央公民館の改善点

- エアコンがきいてない部屋がいくつかある。公民館内の体育館までの廊下は、イベントでも使うが、坂になっていて小さい子が走ってしまうので危ない。
- GSSの予約にわざわざそこまで行かないといけないのは不便である。
- 図書室は、狭く、座るスペースがないので、読むのに床で読まないといけない。椅子がほしい。
- トイレを洋式にしてほしい。和式だとトイレできない。トイレが暗い、怖い。

4. 一宮町中央公民館について望むこと

- 図書室が拡大してもらいたい。本の数も増やしてほしい。
- 施設が古くなっているので、バリアフリーにってもらいたい。段差がいろんなところがあり、けがのリスクが構造上ある。
- 利用頻度が高いのは、子どもたちと図書室に行くことである。そのため、本の数や座って読めるスペースが増えるといい。
- 図書室だけの利用にとどまらず、子ども会の活動以外にも取組ができればいい。気軽にふらっと遊びに行ける、(小学生向け)児童館や(中高生向け)ユースセンターなどの機能がある施設になるといい。

- ・ 2階の個室スペースにある、町の歴史のコーナーが小さく、展示がみんなに伝わりづらい。展示は、たくさんしてもらいたい。
- ・ 自由スペースが欲しい。勉強したり本を読んだりするスペースがほしい。自由スペースだと周りで遊んで騒ぐ人もいるから、遊ぶスペースと勉強スペースを別々に作ってほしい。
- ・ 本やGSSの予約をネット予約できると、楽にできる。
- ・ 児童館みたいな施設や、勉強するスペースと遊ぶスペースの2種類のスペースがあったらいい。
- ・ 自分は受験生（中学3年生）で、自習室を使うが、狭いと人と隣り合うため、自習室も拡大してほしい。月1、2回のペースで利用している。
- ・ Wi-Fiがあれば、タブレットを使っても勉強できる。また大人も、仕事ができる。
- ・ 公民館は、家からは遠いが学校からは近い（歩いていける距離）ため、公民館で遊んだり勉強したり、親が仕事の時に勉強して親を待って過ごすことができたらい。夕方の17時からいまで親がいない世帯が多く、地域の中では子ども同士で遊んでいない。公民館は小学校から歩いていける距離なので、学校からの帰り先を公民館にして、公民館で学習したり友達と過ごしたりして大人が見守りながら、子どもが自主的に過ごせる場所になるといい。
- ・ Wi-Fiがつながると、ゲームでたむろしてしまい、迷惑がかかることも想定される（マンションでは以前子どもがたむろっていた場所になっていた）。学童とは違う、自分で学習できるような場所ができないか。
- ・ （小学生高学年限定にして）子どもたち同士で過ごせる場所としてうまく活用できないか。特に家に帰ると遊び相手がおらず、ゲームやYouTubeを見て自宅で過ごすことになる。
- ・ 一宮町には公園が少なく、公民館が活動の拠点になればいい。大人が見守るシステムがあれば、親の目から離れて遊んだり学んだりできる。今はドラえもんの空き地みたいなところがないので、そういうところがあればいい。
- ・ 児童館のようなスペースがあればいい、集合場所では、夏だとずっと待っていると熱中症になる可能性があるから、公民館の中で集合しよう、勉強しようという風になるといい。

5. 放課後の過ごし方・友達と遊ぶ場所など

- ・ 友達と集まるのは、公園やコンビニである。公園等で遊ぶときもあるし、友達の家で遊ぶのに、友達との待ち合わせ場所とする時もある。
- ・ 公民館には、月1の習い事（将棋）で行って、部屋一室を借りている。教えてくれる指導者がいて仲間と教わっている。
- ・ スペースが狭い。絶対にこれが欲しいというものはないが、スペースが狭いので拡張してほしい。
- ・ 普段は家で勉強しているが、友達と勉強したり、本を借りてその場で勉強できたりしたらいい。

6. 場所について

- ・ 一宮町には、小学校2つ（東浪見と一宮）、中学校1つがあるが、中央公民館は、一宮の方

に寄っていて、東浪見の人からは遠い。みんなが行きやすい場所、東浪見と一宮からも行ける距離・場所だといいい。

- 役場と公民館の位置は今ままでいい。駅からも近い、小学校2つの中心に立てるのは難しいと思うので、一宮の中心である今ままでいい。
- 公民館は、ちょっと入ったところにあるから、目立つところにあるといい。そしたら、もっといろんな人が集まるのと思う。
- 今の位置で問題ない。居住地が9区なので、そこから公民館まで歩いていくには遠く、自転車でも15分かかる。中心になっても、外側にも人はいるから、遠い人はでてきてしまう。位置的には問題ないと思う。
- 今の場所がいいとも悪いとも感じておらず、不便と覚ることは基本的にはない。どこからもアクセスしやすい場所が理想であるが、物理的に実際に立てられる場所があるのかと思う。

7. 飲食について

- 一宮町には、集まってなにか食べるというスペースはないので、公民館に作ってくれたらいい。
- お昼に勉強しに行ったときや図書室を利用した時に、食事ができたらいい。
- 「17:30まで公民館にいて」と親から言われたときに、お腹が空いても食べられないから、飲食OK、後片付けをしてね、という部屋があったらいい。
-

3. 太極拳同好会

日時	2024年9月12日(木) 12:15~13:00	場所	一宮町中央公民館
参加者	太極拳同好会 (当日参加者6名) 一宮町 教育委員会 教育課 中村主査補 株式会社ばぎん総合研究所 調査部 高城		

■インタビュー結果

1. 一宮町中央公民館の使用状況と、満足度

- ・ 最近、下駄箱がきれいになった。そこは少し良かったと思っている。

2. 一宮町中央公民館の改善点・望むこと

- ・ まずエアコンが古く、きれいな空気が出ているのかいつも気になっている。自分たちも気にして自宅のエアコンも掃除する。太極拳で深呼吸して汚い空気を吸っていたら怖い。
- ・ トイレも問題である。和式トイレは年齢的に使えず洋式が絶対に必要である。公民館のトイレは暗く、保健センターのトイレに行きたくなる。
- ・ エレベーターも必要である。
- ・ 私はパッチワークで2階の講義室を使って行っているが、床にガムテープがいっぱい貼ってある。老朽化しているため仕方がないが、長いことずっとその状態のままである。新しくきれいになったら、パッチワークもやっていて楽しいと思う。
- ・ 和室の畳もひどく、擦り切れていて入るのが嫌である。
- ・ 図書室で本を閲覧する際、何かちょっと読むスペースは端に少しあるだけで、そこでゆっくりと本を読んで、半日でもつぶそうという気持ちにならない。そういうことができる図書室になってほしい。また、本は取り寄せてはもらえるが、もっと色々な興味が引かれるようなのがあるといい。
- ・ 古い本が多い。小説などは新しい本があるようだが、パッチワークの参考になる本は古い本ばかりである。
- ・ 講義室の遮光カーテンが中途半端に閉まらない。
- ・ 屋根の上の見た目が気持ち悪い。
- ・ 入り口の掃除が行き届いていない、草やコケが生えている。
- ・ 図書室は何回か利用させてもらったことがあるが、古いため、主に茂原の図書館を利用している。設置当時は、場所的にいまの所しかなかったかもしれないが、今後はきれいにして本を借りに来る人が気持ちよく返却できるような形にしていきたい。また、ごみごみしているのもう少し空間が広く取ればよい。
- ・ 長生村の八積駅に新しい交流センターができて、なんでこんな差があるのかと感じる。長柄町にも新しい施設ができた。主人が長柄町出身で、住んでいた頃に水害があり、こども園や保育所が潰れてしまったが、埋め立てをしてきれいな公民館ができた。長柄町や長生村は、子どもの学力に力を入れていて、勉強スペースを作っている。娘も言っていたが、やっぱり大学受験、

高校受験の時に勉強する場所が一宮町にはない。図書室もない。勉強する場所など子どもたちのことを考えてほしい。図書室に本や辞書などを置いていただけるとありがたい。

- ・ 一宮町には、散歩に行ってもちょっと休みたいというときに、休む（ちょっと楽しみにする）ところがない。何かそこにちょっと立ち寄って、ちょっと幸せな気分になれるところがあると良い。
- ・ 納税者側から言えば、税金がかかるのも困る。町民税と住民税に響く。補助金をもらうようにできないか。
- ・ 選挙の時に公民館を利用するが、入り口と出口が同じというのはおかしい。ほかのところでは、行き来がしやすいように別々になっている。あわせて、扉がスライド式でないところも見当たらない。
- ・ トイレは、やっぱり手すりがなく、つまずきやすいので、バリアフリーにしてほしい。転倒したら危ない。
- ・ 2階の講義室や会議室を使っているサークルに入っていた人が、2階に上がれなくてやめたという。2階に行けるエレベーターの設置やバリアフリー化をお願いしたい。
- ・ 下駄箱というシステムは今はあまりない。和室に上がる時に靴を脱ぐのは理解できるが、一宮町には外国人も多くいる中でありえない。フラダンスや英会話を教えている先生には、外国人の方もいる。国際交流できるサーフィンのまちなのにおかしい。
- ・ 役場に隠れていて目立たない。公民館がやっているのかわからない。
- ・ 間取りが今の時代に合わない。多目的ホールを設置して、間仕切りで仕切れる広くて開放的な場所が欲しい。多目的ホールのような色々な形で使える場所があると良い。
- ・ 図書室には、蔵書の増加よりも、図書室に空間を持たせて、学習できる場所や子どもたちが本を出して座り込んで読めるようなスペースを確保してほしい。
- ・ 奥まった死角になるところで、子どもたちが何をしているか分からないというのは危ない。子どもたちを外からオープンに見えるような場所を作ってほしい。子どもの居場所は絶対に必要である。いろんな世代がお互いに「見る」機会がないと、他の世代から「うるさい」と言われてしまう。ちょっとお互いが垣間見える状態で、人の交流を促したり、社会で子どもたちを育てる仕組みがあればいい。
- ・ 狭いのであれば、新築にしてフロアを広くするのではなく、今の建物を活かして上に高くしてほしい。
- ・ 今のままでは不要な空間が多いのでリフォームは反対。将来的にその方がいい。
- ・ 1フロアで交流してお互いに動いている姿が見えればいい。
- ・ この先何年か延びてもいいから新築でお願いしたい。その方が後世に残る人たちにとって良い。
- ・ 以前、障がい者の方が避難した時に和室に案内されたが、段差があるし、トイレが昔のトイレそのままだったから介助するのに苦労した。
- ・ 建替えしている間に使える施設も、ここから遠くならないところにしてもらいたい。GSSでは遠い。町は、住民のために建替えをしたいのだから、その間も住民を上手に保護してもらいたい。

3. 場所について

- ・ 場所は、ここなら自転車ですぐ来られるため、ここが良い。GSSセンターの方へは、車の運転ができないから行けない。

4. 防災

- ・ 結局、今の状況だと公民館は、津波や地震で避難できるところではないし、GSSは川を渡らないといけないから、もし何かあったら、私たちは長生村の消防署か、長生村の高台へ行こうと思っている。ここに避難できるようにするなら、耐震をしっかりとってもらって、何十人でも入れる避難所にしてほしい。いまは、天井がひび割れていて危なく、鉄筋コンクリートもむき出しである。アスベストが入っているかもしれない。こういう問題をクリアにするためにも（基準を満たす建物であると示すためにも新築にしてもらいたい。
- ・ 線路の下側には、町民の6割くらい住んでいるが、その人たちが逃げ込む場所がない。海に近い方に高い建物（避難所）ができています。
- ・ 小学校まで行って時間を測って、地震が起きたら何分で津波が来るかっていうのは、計算すればとりあえず今は逃げられる。GSSは今の足ではとっても避難するには大変である。
- ・ この公民館以外に避難する場所がないが、避難タワーを作っても、波が引いたら建物が耐えられなさそうである。

5. 情報公開

- ・ 検討委員会の傍聴に行ったが、皆さん住民代表ではあるが、やはり財政の問題が頭にあるようで、同じ住民としての考えなのかちょっと疑問に思った。とにかく情報公開はできるだけしてほしい。町役場の新庁舎の建設の際は、かなり情報公開をしてくれた。2年程度かけて話し合いをして建設に着手し、さらに建て始める際にちょうど東日本大震災が起きたため一旦建設を止め、屋上に逃げこめる場所をつくったという経緯がある。

4. 手話教室

日時	2024年9月12日(木) 13:30~14:30	場所	一宮町中央公民館
参加者	手話教室様(当日参加者10名) 一宮町 教育委員会 教育課 中村主査補 (株)ちばぎん総合研究所 調査部 高城		

■インタビュー結果

1. 組織概況・活動内容・活動の経緯

- ・ 手話教室(一宮手話サークル)には、初心者向けのサークルなので色々な人がいる。手話での挨拶やコミュニケーションを広めていきたいと思っている。
- ・ 聴覚障害のある方は、声での会話ができず情報が入りづらい。そのため、生活している中で、お互いに「元気?」「どうしたの?」「困ったな」と感じたときに、簡単な内容のコミュニケーションをとれるようになることを目的としている。
- ・ 身振りや表情でわかってもらえるような関係を築き、最終的には、災害時に助け合えるようにしていきたいと思っている。

2. 一宮町中央公民館の使用状況と、満足度

- ・ 使いやすい。子どもと参加型のイベントに参加でき、そういうスペースがあることは、とてもありがたい。これからももっと来やすい、使いやすい施設になってくれるといい。
- ・ 子ども向けのイベントを英語で行っているが、この施設は、ケーブルや椅子がたくさんあり危ない。また床が滑りやすい。
- ・ となりのビル(保健センター)では、赤ちゃんだけが遊べるキッズスペースがある。しかし、使えるのは赤ちゃんだけであり、時間も9-12時、13-15時と決まっている。子ども(児童)が遊べる場所が一宮町にはない。
- ・ シンクは大きいものがあるが、トイレに子ども一人で行かせるのは怖い。危ないから外で済ませる。
- ・ 子どもとクッキングしたいが、ここでは食べられないので味の確認もできない。
- ・ エアコンがきかないときにはヒーターを使えるが、子どもが走り回るので危ない。
- ・ 昔は21時まで開いている図書室があったが、今は小さい図書館が17時までしか開いていない。
- ・ 本が少ない、子どもたちは1冊10回くらい読んでいる。
- ・ 家族の参加できるイベントがない。移住してきてさみしい。

3. 一宮町中央公民館の改善点

- ・ ふれあいルームの新設や、飲食のできる部屋で赤ちゃん、お母さん、高齢者などの住民が集える環境があると良い。そのために、町としての飲食提供があればいい。
- ・ お互いが知り合って、公民館を拠点としていつでも挨拶ができる関係を作っていけたらいい

い。

- 完全なバリアフリーにしてほしい。和室に段差があるが、段差がないものにしてもらいたい。車いすの方も避難場所として使うことも想定されるのでスロープ等も整備してほしい。
- キッズルームを完備してほしい。子育て世代の交流の部屋として、より住民が親しく仲良くなる場の1つになる。
- それぞれの団体が活用できる部屋数を確保して、和室やコードも考慮してほしい。
- 町の文化財を展示できるスペースを作してほしい。
- 駐車場は東側のスペースに移動し、今の駐車場スペースは、子どもたちが遊べる池にしたい。
- 福祉と教育につながり、人の輪が広がるのではないかな。
- カラオケ教室でも使えるような防音室の設置。隣の部屋で会議をしていたら耳に入ってくる。
- 一番手のかかる年頃の子ども（親が言っても走り回ったりする子）と来ると、大変であり親は来ても安心できない。エレベーターがないので子どもをおぶって2階に上がらないといけない。角があつて危ない。バリアフリー、移動しやすいものにしてもらいたい。
- 雨が降っても来られるスペースがあるといい。一宮町には雨の日は行けるとことがない。
- 土足で上がれるようにしてほしい。
- GSSは運動の面では使える（舞台もある）が、音響の面で物足りない。ここでも、ホールはあるが、コーラスでピアノやショーや発表会ができるようにして皆さんが気軽に来られるようにしてほしい。
- トイレは、掃除をしていると思うが、においが気になる。
- 年配の方が多く、エレベーターを設置してほしい。階段の段差が高いのでシニアの足にやさしくなるように低くしてほしい。足元に照明が自動でつくようにしたら節電になるのではないかな。
- バリアフリーにしてもらいたい。
- 障害者のための施設を作してほしい。例えば手話教室で使える。エレベーターや車いすを使う人のことを考えてほしい。お手洗いは広いといい、図書室もみんな勉強してパソコンが使えるスペースがほしい。長生村の交流センターはいいな一、一宮町の同じようになって2、3階も使えるといいなと思う。
- プロジェクターが波打っている、自立型のプロジェクターがあればいいが、今はわざわざ持ってきている。備え付けのテレビも古くて使いにくい。
- 他の施設では、ブラインドなどがボタンで動くので、新しく建てるのであればこういうところも配慮いただきたい。講演などもできるといい。
- 目が見えない人のために点字や高齢者のための手すりがあるといい。
- 緊急のときには、フラッシュライトがつくなどの聞こえない人のための整備はあるか。障がい者に使いやすいユニバーサルデザインにしてほしい。
- 日本語だけではわからないこともあるから多言語表記もしてほしい。サーフィンの町で外国の方も来るとも想定されるだろう。
- 手話サークルなので、聞こえない人や障がい者のための施設にしてほしい。そうすればみんな

な使いやすい。

- ・子どもたちの交流ができるようにしてほしい。芝生広場があると、季節によっては子どもたちが遊べる。

4. 図書室

- ・本が好きなので図書室が充実して、子どもたちが勉強したり、大人が本を読んだりできたらいい。
- ・図書室に読書ルームの設置をしてほしい。本を読んだり、中高大学生が勉強できる環境を作ってほしい。
- ・本は新しいのをいれてほしい。
- ・子育ては終わったが、子育て中には図書館がなく長生村や茂原に行っていた。次世代のためにも図書室は作ってほしい。

5. 防災

- ・津波の避難所になりうる建造物にしてほしい。今は津波の避難場所になっていないため、3階建てにして対処してもらいたい。
- ・防災備蓄庫を完備してほしい。
- ・一番気になるのは、耐震性と津波が来た時には大丈夫なのか気になる。能登のことを見ると、避難所として想定したものにしてほしい。

6. 場所について

- ・場所は今のところで、新築がいい。
- ・線路を挟んで、向こう側には一宮小学校や中学校、商業など避難場所があるが、こちら側には避難場所が役場とこの場所しかないので、新しい公民館はこの場所に作ってもらいたい。避難すると、GSSには車いすの方を優先する場所があるが、ここにはない。

7. リフォーム・新築

- ・既存のものを効率よく使うことも考えたい。今は空いている教室がいっぱいあるが、多目的に使い、大勢でいるときは大きく、少人数のときは、小さいスペースを使うなど分割してつかえるといい。必要であればGSSに行くなど対応できたらいい。維持していくことは大変なので、立派なものを建てると一宮町としては負担ではないか。
- ・借金も財産のうちであるから、将来のために建替えてもらいたい。
- ・うまく保健センターやGSSを使って、お金をかけずにつくれないかと思う。

8. その他

- ・改築にあたっての町としてのテーマが何かを知りたい。
- ・パーク睦沢には、プールや500人くらい入れるステージやダンスの広場などスポーツができる施設がある。部活が終わったあと使える。

一宮町中央公民館の整備に関する

グループインタビュー

実 施 報 告 書

令和6年9月

発行 一宮町教育委員会

〒299-4396 千葉県長生郡一宮町一宮 2457

電話 0475 (42) 2111(代表)